

主催  
東京外国語大学  
国際関係研究所

「ボーダレスな危機連鎖時代の社会とガバナンス」研究会

## 2025年の世界経済の行方 — トランプ2.0の米国と競争力危機下の欧州を中心に —

「選挙イヤー」の2024年、多くの国で現政権に厳しい結果が突き付けられ、主要国・地域間の貿易制限競争は激化、世界経済の「断片化」が進みました。「トランプ2.0」の始動は、米国と世界の経済をどう変えるのか。産業立国ドイツと欧州は競争力危機からの脱却の糸口を見いだせるのか。世界経済の潮流変化の日本経済への影響についても考察したいと思います。

参加登録はこちら  
12月11日(水)正午まで



**2024年12月13日(金)**

**17:00~18:30**

ZOOMによるオンライン研究会

一般公開・参加無料  
(主に研究者・実務家向け)

■ 講師

伊藤 さゆり 氏

ニッセイ基礎研究所 経済研究部 常務理事

■ 司会・コメント

田島 陽一 氏

東京外国語大学 教授

東京外国語大学  
国際関係研究所



[www.tufs.ac.jp/common/fs/iir/](http://www.tufs.ac.jp/common/fs/iir/)



[iir-office@tufs.ac.jp](mailto:iir-office@tufs.ac.jp) (国際関係研究所事務局)